

水響傘



本デザインは、日本の伝統的な和傘の形状をモチーフにした屋根と、水上に浮かぶ円形のプラットフォームによって構成される。和傘の繊細な骨組みを思わせる放射状のフレームが軽やかさを生み、大小の屋根が連続して接合することで、有機的なリズムを持つ空間が形成されている。水辺に溶け込むように設計されたこの場所は、自然と共生する日本の美意識を表現している。また、この空間は天候によって異なる表情を見せる。晴れの日には、静寂に包まれた穏やかな時間が流れ、まるで和傘が開かれた茶室のような落ち着きを演出する。一方、雨の日には、屋根から滴る雨水が和傘特有の美しい水の流れをつくり、水面に波紋を広げる。さらに、その波紋が足元のガラス浮島を透過し、視覚的に動きのある空間を生み出す。静と動が共存するこのデザインは、訪れる人に日本の四季の移ろいと、雨の持つ情緒的な美しさを体感させる。

